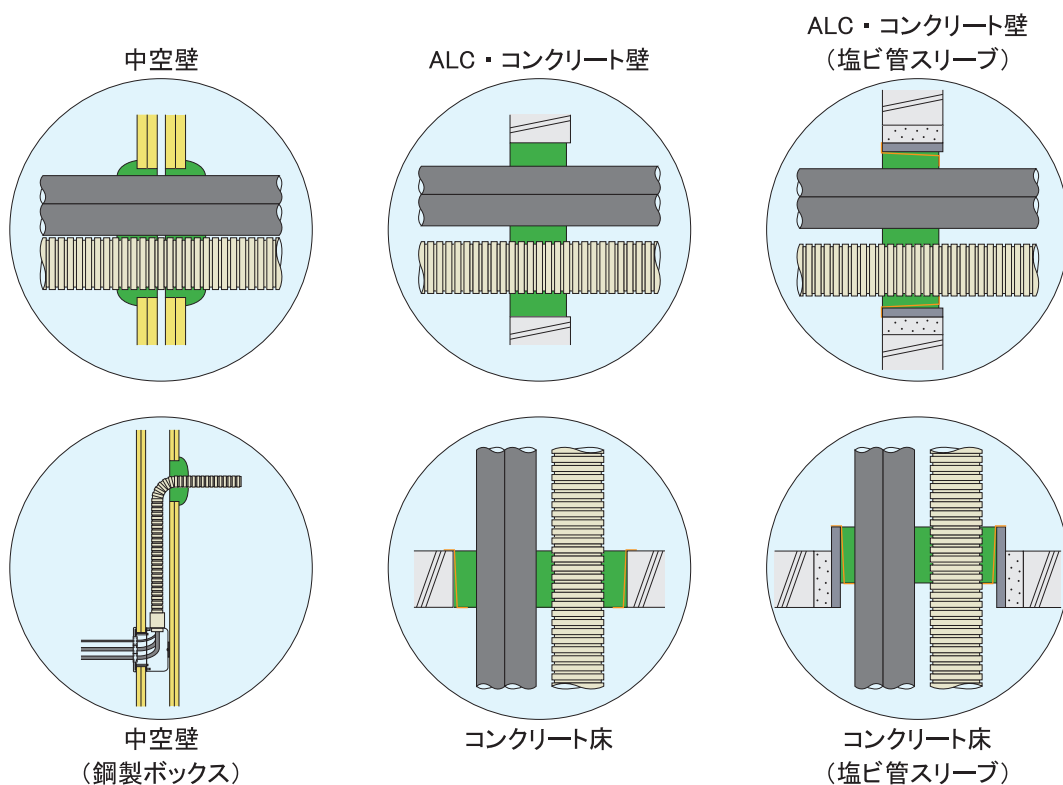


# 認定範囲が広くなりさらに 使いやすく便利になりました



## ケーブル貫通部防火措置工法

# フラスター NF-12HM



2021年

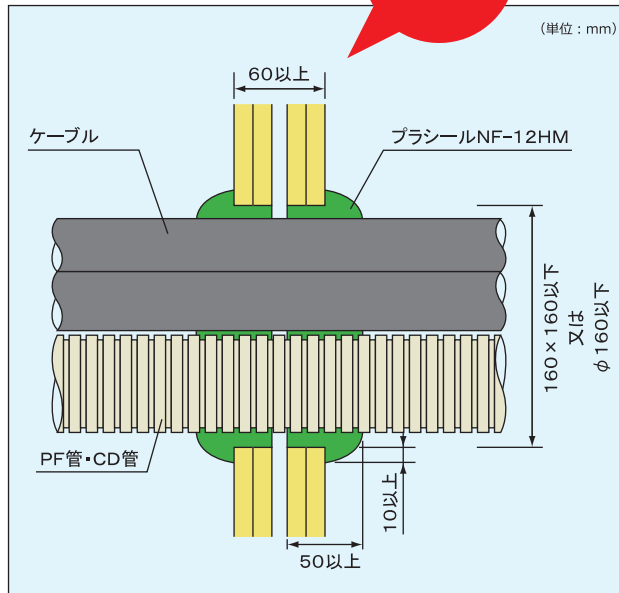
NITTO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.

# 新工法 PS060WL-1161 はさらに認定範囲が広がりました。

PS060WL-0575 は新工法に統合いたします。

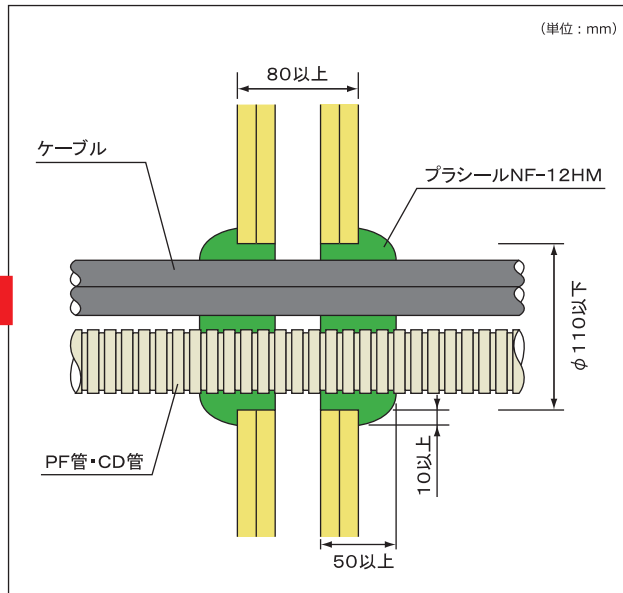
■標準施工図

PS060WL-1161



■標準施工図

PS060WL-0575



■主な認定条件

施工条件の詳細は認定書をご確認ください。

認定番号	PS060WL-1161	PS060WL-0575
貫通する壁の構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・60分準耐火構造 厚さ60mm以上</li> <li>・60分耐火構造 厚さ60mm以上</li> <li>・ALCパネル 厚さ60mm以上</li> <li>・鉄筋コンクリート造 厚さ60mm以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・60分準耐火構造 厚さ80mm以上</li> <li>・60分耐火構造 厚さ80mm以上</li> <li>・ALCパネル 厚さ80mm以上</li> <li>・鉄筋コンクリート造 厚さ80mm以上</li> </ul>
開口部	160mm×160mm以下 又は φ160mm以下	φ110mm以下
ケーブル	6600V 導体断面積325mm <sup>2</sup> 以下	600V 導体断面積100mm <sup>2</sup> 以下
合成樹脂製電線管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PF-54、CD-54以下</li> <li>・本数制限なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PF-28、CD-36以下</li> <li>・合計2本以下</li> </ul>
占積率	62.2%以下	40.6%以下
充填厚	50mm以上+50mm以上(かぶせ10mm以上)	50mm以上+50mm以上(かぶせ10mm以上)

PF管・CD管の適用拡大

- 従来工法では合計2本以下に制限されていましたが新工法は本数制限がなくなりました。
- PF管・CD管ともに呼び径54までサイズアップ。

ケーブルサイズ拡大

導体断面積 325mm<sup>2</sup>  
6600Vの高圧ケーブルまで  
サイズアップ。

占積率大幅アップ

占積率を62.2%まで上昇。  
(従来工法比 1.5倍)

適用構造増加

押出成形セメント板(60mm)  
に使用可能となりました。

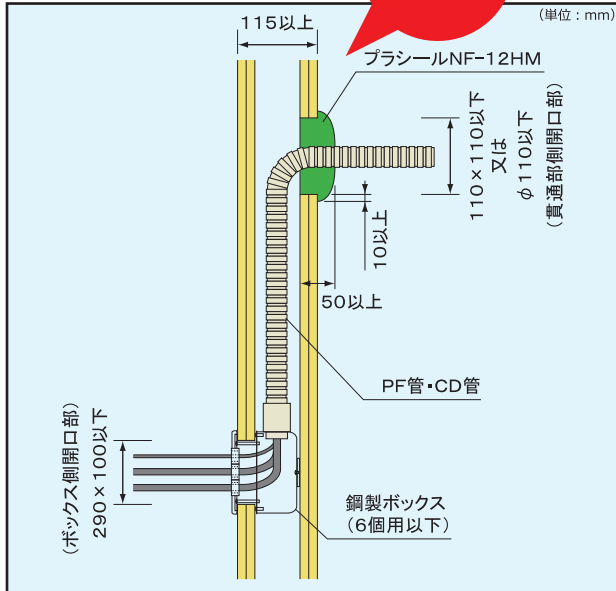
**鋼製ボックス(コンセント・スイッチボックス)の最大サイズが3個用から6個用に広くなりました。**

壁の厚さが115mm未満の場合のみ、従来工法 PS060WL-0869 をご使用ください。

■標準施工図

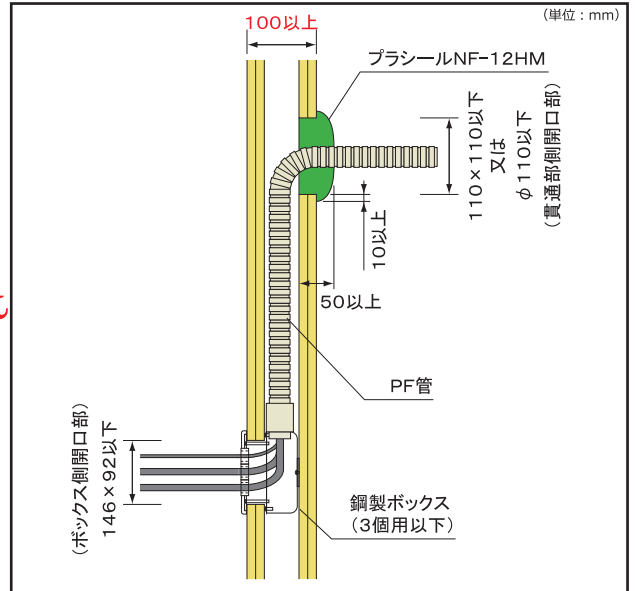
PS060WL-1159

NEW



■標準施工図

PS060WL-0869



&

■主な認定条件

施工条件の詳細は認定書をご確認ください。

認定番号	PS060WL-1159	PS060WL-0869
貫通する壁の構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・60分準耐火構造 厚さ115mm以上</li> <li>・60分耐火構造 厚さ115mm以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・60分準耐火構造 厚さ100mm以上</li> <li>・60分耐火構造 厚さ100mm以上</li> </ul>
開口部	貫通部側	110mm×110mm以下 又は φ110mm以下
	ボックス側	297mm×100mm以下(6個用以下)
ケーブル	600V 導体断面積22mm <sup>2</sup> 以下	600V 導体断面積22mm <sup>2</sup> 以下
合成樹脂製電線管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PF-28、CD-28以下</li> <li>・本数制限なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PF-22</li> <li>・合計3本以下</li> </ul>
占積率①※	規定なし	17.0%以下
占積率②※	規定なし	50.6%以下
占積率③※	30.4%以下	33.4%以下
充填厚	50mm以上(かぶせ10mm以上)	50mm以上(かぶせ10mm以上)
鋼製ボックス部の措置	背面の貫通孔は0.05mm以上のアルミニウムテープで閉塞	不要

※ 占積率①：【開口部・貫通部側の断面積】に対する【樹脂管・ケーブルの断面積総合計】の割合(天井裏の貫通部)

占積率②：【PF管・CD管の内径断面積総合計】に対する【ケーブルの断面積総合計】の割合

占積率③：【鋼製ボックス貫通孔の断面積総合計】に対する【ケーブルの断面積総合計】の割合

占積率の適用部減少

天井裏の石膏ボード貫通部の占積率規定がなくなりました。

木製下地壁に対応

軽量鉄骨(LGS)以外に木製下地壁に対応できるようになりました。

樹脂管とケーブルの混在可

樹脂管配線と直配線の混在が可能になりました。

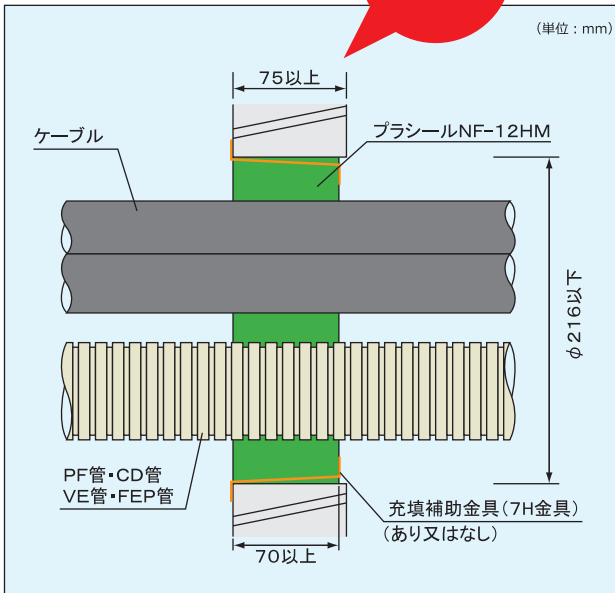
# 新工法 PS060WL-1158 はさらに認定範囲が広がりました。

PS060WL-0582 は新工法に統合いたします。

## ■標準施工図

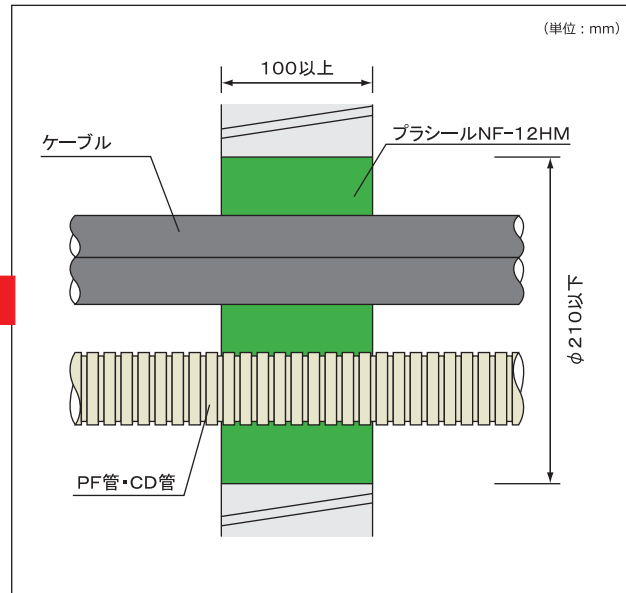
PS060WL-1158

NEW



## ■標準施工図

PS060WL-0582



## ■主な認定条件

施工条件の詳細は認定書をご確認ください。

認定番号	PS060WL-1158	PS060WL-0582
貫通する壁の構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALCパネル 厚さ75mm以上</li> <li>鉄筋コンクリート造 厚さ75mm以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALCパネル 厚さ100mm以上</li> <li>鉄筋コンクリート造 厚さ100mm以上</li> </ul>
開口部	φ216mm以下	φ210mm以下
ケーブル	6600V 導体断面積325mm <sup>2</sup> 以下	600V 導体断面積325mm <sup>2</sup> 以下
合成樹脂製電線管	<ul style="list-style-type: none"> <li>PF-54、CD-54、VE54、FEP-50以下</li> <li>本数制限なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PF-36、CD-42以下</li> <li>合計4本以下</li> </ul>
占積率	50.6%以下	42.6%以下
充填厚	70mm以上	100mm以上

### PF管・CD管の適用拡大

- 従来工法では合計4本以下に制限されていましたが新工法は本数制限がなくなりました。
- PF管・CD管ともに呼び径54までサイズアップ。

### 電線管の種類増加

PF管・CD管以外にVE管とFEP管も使用可能です。

### パテの充填厚減少

躯体床と同様70mm 充填になりました。

### 壁の適用範囲拡大

75mm 厚以上の壁に対応できるようになりました。

### 占積率アップ

占積率を50.6%まで上昇。  
(従来工法比 1.2倍)

### 金具の使用が可能 (任意)

充填補助金具を使用することができるようになりました。(使用しなくても認定工法となります。)

注意：床工法の場合は必須です。

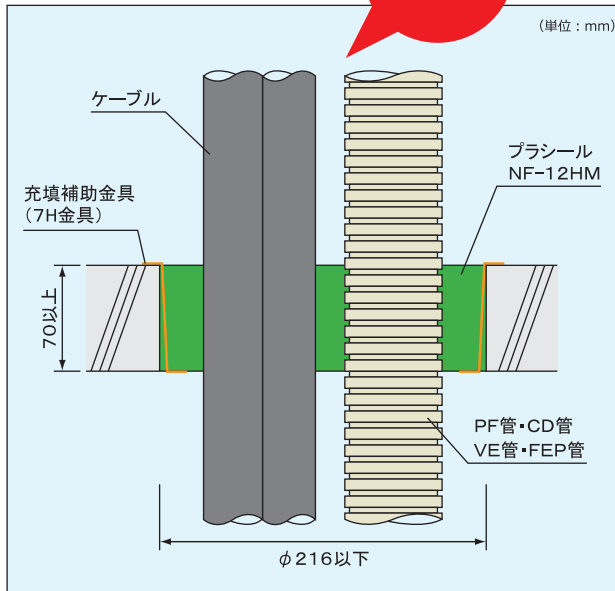
## 新工法 PS060FL-1160 はさらに認定範囲が広がりました。

但し、ALC床のみ従来工法をご使用ください。

### ■標準施工図

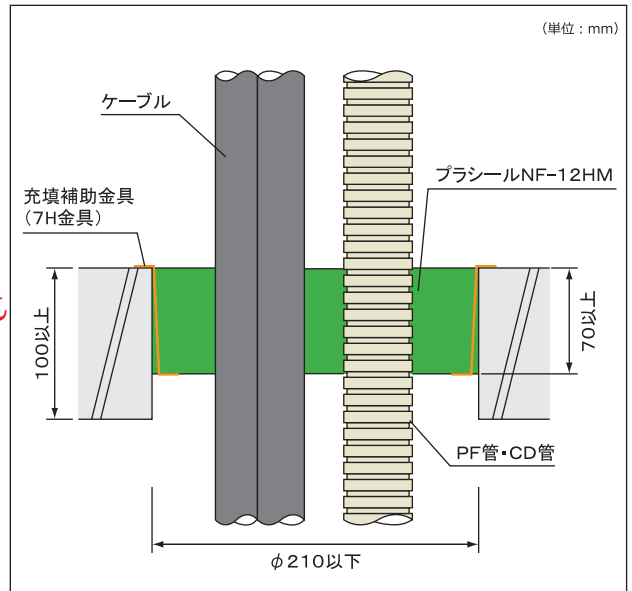
PS060FL-1160

NEW



### ■標準施工図

PS060FL-0585



&

### ■主な認定条件

施工条件の詳細は認定書をご確認ください。

認定番号	PS060FL-1160	PS060FL-0585
貫通する床の構造	・鉄筋コンクリート造 厚さ70mm以上	・ALCパネル 厚さ100mm以上 ・鉄筋コンクリート造 厚さ100mm以上
開口部	φ216mm以下	φ210mm以下
ケーブル	6600V 導体断面積325mm <sup>2</sup> 以下	600V 導体断面積325mm <sup>2</sup> 以下
合成樹脂製電線管	・PF-54、CD-54、VE54、FEP-50以下 ・本数制限なし	・PF-36、CD-42以下 ・合計4本以下
占積率	50.6%以下	42.6%以下
充填厚	70mm以上	70mm以上

#### PF管・CD管の適用拡大

- 従来工法では合計4本以下に制限されていましたが新工法は本数制限がなくなりました。
- PF管・CD管ともに呼び径54までサイズアップ。

#### 床の適用範囲拡大

70mm厚以上の鉄筋コンクリート床に対応できます。

#### 占積率アップ

占積率を50.6%まで上昇。  
(従来工法比 1.2倍)

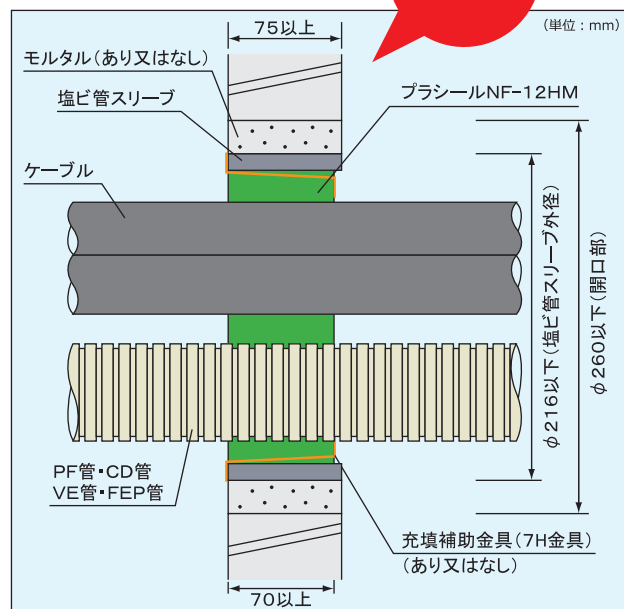
#### 電線管の種類増加

PF管・CD管以外にVE管とFEP管も使用可能です。

## 打ち込み塩ビ管スリーブの撤去が不要な新工法。

### ■標準施工図

PS060WL-1158



### ■主な認定条件

施工条件の詳細は認定書をご確認ください。

認定番号	PS060WL-1158
貫通する壁の構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALCパネル 厚さ75mm以上</li> <li>・鉄筋コンクリート造 厚さ75mm以上</li> </ul>
開口部	φ260mm以下 (塩ビ管スリーブを後付け施工する場合)
スリーブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外径 φ216mm以下(呼び径200以下)</li> <li>・肉厚 11.0mm以下</li> <li>・長さ 75mm以上</li> <li>・規格 JIS C 8430、JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776 (VE管、VP管、VU管等)</li> </ul>
ケーブル	6600V 導体断面積325mm <sup>2</sup> 以下
合成樹脂製電線管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PF-54、CD-54、VE54、FEP-50以下</li> <li>・本数制限なし</li> </ul>
占積率	50.6%以下 ※ (ケーブルと合成樹脂製電線管の断面積総合計) ÷ (スリーブ外径断面積) × 100で算出。
充填厚	70mm以上

### 塩ビ管スリーブ撤去不要

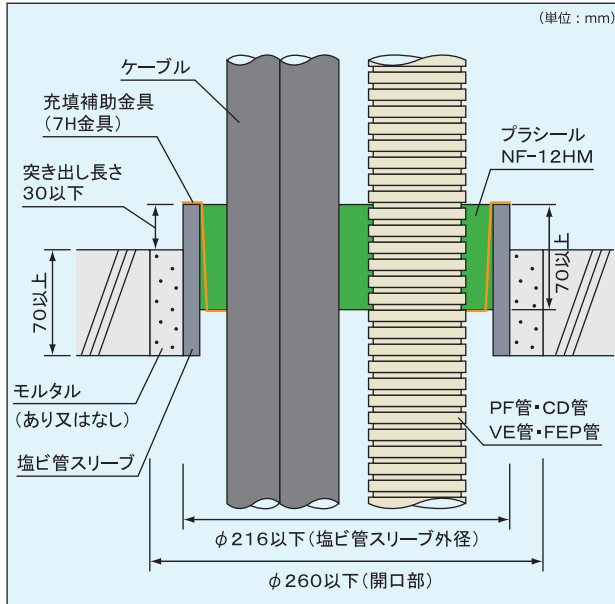
- ① 打ち込み塩ビ管スリーブを撤去していない仕様で国土交通大臣認定を取得しております。  
スリーブ撤去に関連する作業の省力化が図れます。
- ② 作業性を高めるために充填補助金具を設置することも可能です。

# 打ち込み塩ビ管スリーブの撤去が不要な新工法。

NEW

■標準施工図

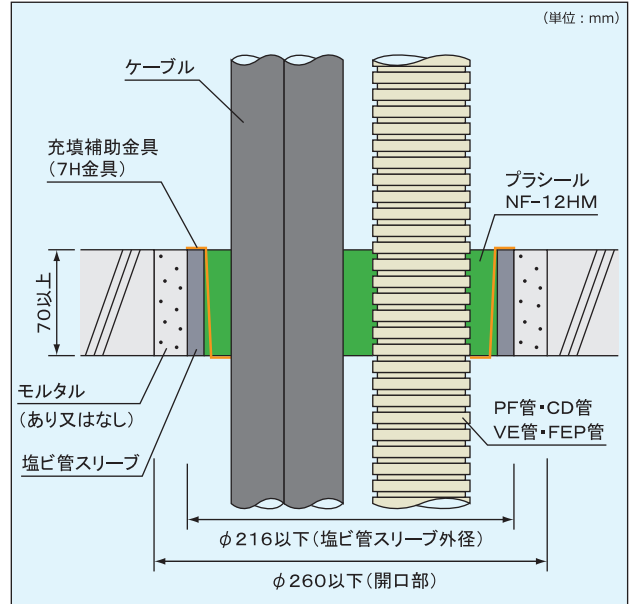
PS060FL-1160 スリーブ突き出しあり



NEW

■標準施工図

PS060FL-1160 スリーブ突き出しなし



■主な認定条件

施工条件の詳細は認定書をご確認ください。

認定番号	PS060FL-1160
貫通する床の構造	鉄筋コンクリート造 厚さ70mm以上
開口部	φ260mm以下 (塩ビ管スリーブを後付け施工する場合)
スリーブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外径 φ216mm以下(呼び径200以下)</li> <li>・肉厚 11.0mm以下</li> <li>・長さ 70mm以上(床面突出寸法は30mm以下)</li> <li>・規格 JIS C 8430、JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776 (VE管、VP管、VU管等)</li> </ul>
ケーブル	6600V 導体断面積325mm <sup>2</sup> 以下
合成樹脂製電線管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PF-54、CD-54、VE54、FEP-50以下</li> <li>・本数制限なし</li> </ul>
占積率	50.6%以下 ※ (ケーブルと合成樹脂製電線管の断面積合計) ÷ (スリーブ外径断面積) × 100で算出。
充填厚	70mm以上

## 塩ビ管スリーブ撤去不要

- ① 打ち込みの塩ビ管スリーブを残した状態で、国土交通大臣認定を取得しております。  
スリーブ撤去に関する作業の省力化が図れます。
- ② スリーブは床上30mmまで突出することが可能です。  
防水性のあるブラシールNF-12HMIに加え、スリーブを突出することで階下への漏水防止効果が向上します。

NEW

# ホームページ もリニューアル

<https://www.nitto-kasei.co.jp>



## 【会員登録不要】

ホームページ上で工法表示ラベルの請求ができるようになりました。

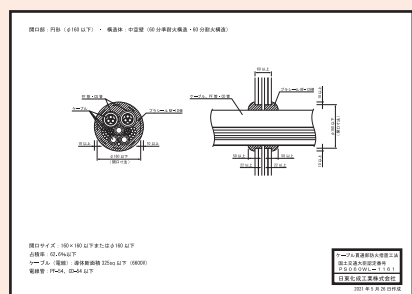
従来どおりの請求方法も継続してご利用いただくことができます。

(工法表示ラベル請求書ご記入後、FAX又はメールによる送信)

## 【会員登録済みの方】

ログインしていただくと、下記資料がダウンロードできるようになりました。

- ・ 国土交通大臣認定書（全文）
- ・ 一般財団法人日本消防設備安全センター性能評定書（全文）
- ・ CADデータ



 **日東化成工業株式会社**

〒545-0022 大阪市阿倍野区播磨町1丁目24番24号  
TEL (06) 6693-3561 FAX (06) 6693-3838

<https://www.nitto-kasei.co.jp>